平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月11日

上場会社名　株式会社 東京一番フーズ　　上場取引所　東
コード番号　3067　URL　http://www.tokyo-ichiban-foods.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 坂本　大地
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長　(氏名) 井野　一三美　TEL 03-5363-2132

四半期報告書提出予定日　平成24年5月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第2四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	2,313	6.2	515	69.6	522	66.7	343	127.0
23年9月期第2四半期	2,178	△9.9	303	△38.5	313	△37.3	151	△25.0

(注)包括利益　24年9月期第2四半期　343百万円　(127.0%)　23年9月期第2四半期　151百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第2四半期	4,075.02	4,001.46
23年9月期第2四半期	1,818.41	1,767.10

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第2四半期	1,947	1,280	64.5
23年9月期	1,386	935	65.8

(参考) 自己資本　24年9月期第2四半期　1,256百万円　23年9月期　912百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	―	0.00	―	0.00	0.00
24年9月期	―	0.00			
24年9月期(予想)			―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,171	5.0	30	―	49	―	24	―	287.36

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期2Q	85,200 株	23年9月期	85,120 株
② 期末自己株式数	24年9月期2Q	875 株	23年9月期	875 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期2Q	84,268 株	23年9月期2Q	83,205 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）セグメント情報等 …… 9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（７）重要な後発事象 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復旧・復興に向けた動きに本格化の兆しが見える中で、経済活動や個人消費に持ち直しの動きが見られたものの、海外経済は、全体としてなお減速状態が続いており、先行き経済活動は、依然不透明な状況にあります。

外食業界においては、東日本大震災後の消費自粛ムードは平常に戻ったものの、消費者の根強い節約志向による外食支出の減少により、企業間競争は激化の一途をたどっており、経営を取り巻く環境は以前にも増して厳しい状況が続いております。

こうした環境の中、当社グループは、商品力、サービス提供の強化、及びオペレーション力の強化により、お客様満足度の向上に努めて参りました。

また、「泳ぎとらふぐ料理専門店　とらふぐ亭」に続く業態として、当社の強みである産地からの直接鮮魚仕入力を生かして前期にオープンした新業態、「ふぐよし総本店」、「おいしい寿司と活魚料理　魚の飯」、「美味しい刺身と串かつ　串の助」も、順調に推移しております。特に、魚の飯業態では、日替わりで入荷する旬の食材を活かした「おすすめメニュー」に工夫を凝らすなど、内容の充実を図ったことにより、顧客も順調に増加してきております。

さらに、当社グループの長崎ファームにおいては、中長期計画に基づいたとらふぐ、クロマグロ等の海面養殖事業を開始しており、来期以降の本格販売開始に向けて、稚魚の育成を順調に進めております。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間における業績については、売上高23億13百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益５億15百万円（前年同期比69.6%増）、経常利益５億22百万円（前年同期比66.7%増）、四半期純利益３億43百万円（前年同期比127.0%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（流動資産）

当第２四半期末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて５億78百万円増加し、11億92百万円となりました。これは主に、現金及び預金が５億4百万円増加したことによるものです。

（固定資産）

当第２四半期末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて17百万円減少し、7億54百万円となりました。これは主に、減価償却費18百万円を計上したことによるものです。

（流動負債）

当第２四半期末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて２億50百万円増加し、５億75百万円となりました。これは主に、未払法人税が１億73百万円が増加したことによるものです。

（固定負債）

当第２四半期末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて34百万円減少し、92百万円となりました。これは主に、長期借入金が30百万円減少したことによるものです。

（純資産）

当第２四半期末の純資産は、前連結会計年度末に比べて３億45百万円増加し、12億80百万円となりました。これは主に、四半期純利益３億43百万円を計上したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前年同四半期連結累計期間末に比べ２億14百万円増加し、９億83百万円となりました。当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は５億57百万円（前年同四半期より87百万円の収入増）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益５億20百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は５百万円（前年同四半期より97百万円の支出減）となりました。主な要因は、長期前払費用の取得による支出３百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は47百万円（前年同四半期より41百万円の支出増）となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出55百万円によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年9月期の連結業績予想につきましては、平成23年11月11日発表の「平成23年9月期 決算短信」に記載しております業績予想から変更はありません。

なお、当社グループにおいては通常の営業の形態として、第1四半期及び第2四半期におけるふぐの需要が大きいため、第1四半期及び第2四半期と第3四半期及び第4四半期の業績に著しい季節的変動があります。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年９月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	478,952	983,756
売掛金	44,374	86,497
仕掛品	17,044	43,312
原材料	21,909	30,492
その他	51,485	48,697
流動資産合計	613,767	1,192,755
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,244,780	1,244,780
減価償却累計額	△1,065,586	△1,075,810
建物及び構築物（純額）	179,193	168,969
機械装置及び運搬具	17,599	17,088
減価償却累計額	△14,270	△14,599
機械装置及び運搬具（純額）	3,328	2,489
工具、器具及び備品	273,817	275,264
減価償却累計額	△240,991	△248,977
工具、器具及び備品（純額）	32,826	26,287
土地	147,365	147,365
有形固定資産合計	362,713	345,111
無形固定資産		
ソフトウエア	2,209	1,871
無形固定資産合計	2,209	1,871
投資その他の資産		
敷金及び保証金	367,778	367,443
破産更生債権等	21,478	21,478
その他	40,107	40,556
貸倒引当金	△21,478	△21,478
投資その他の資産合計	407,885	407,999
固定資産合計	772,807	754,982
資産合計	1,386,575	1,947,738

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年９月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年３月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	49,380	64,648
短期借入金	－	30,000
1年内返済予定の長期借入金	43,572	18,564
1年内償還予定の社債	61,500	38,500
未払金	105,180	112,265
未払法人税等	9,652	183,589
賞与引当金	8,040	13,000
その他	47,893	114,878
流動負債合計	325,219	575,447
固定負債		
長期借入金	70,987	40,881
負ののれん	9,439	6,865
その他	45,809	44,331
固定負債合計	126,235	92,077
負債合計	451,455	667,524
純資産の部		
株主資本		
資本金	468,800	469,010
資本剰余金	370,800	371,010
利益剰余金	103,005	446,399
自己株式	△30,339	△30,339
株主資本合計	912,266	1,256,079
新株予約権	22,853	24,134
純資産合計	935,119	1,280,214
負債純資産合計	1,386,575	1,947,738

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成23年３月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年３月31日）
売上高	2,178,564	2,313,418
売上原価	692,029	643,533
売上総利益	1,486,534	1,669,885
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	291,167	292,188
雑給	178,594	173,977
賞与引当金繰入額	－	13,000
広告宣伝費	16,900	14,434
販売促進費	8,472	4,423
減価償却費	25,915	17,125
不動産賃借料	218,695	213,800
その他	442,997	425,706
販売費及び一般管理費合計	1,182,743	1,154,655
営業利益	303,791	515,229
営業外収益		
受取利息	178	94
協賛金収入	2,230	3,329
負ののれん償却額	2,574	2,574
債務勘定整理益	2,768	1,237
その他	3,077	1,333
営業外収益合計	10,829	8,568
営業外費用		
支払利息	1,076	1,186
その他	368	399
営業外費用合計	1,445	1,586
経常利益	313,174	522,211
特別利益		
固定資産売却益	7,798	－
特別利益合計	7,798	－
特別損失		
固定資産除却損	－	25
減損損失	47,692	－
訴訟和解金	－	1,905
貸倒引当金繰入額	10,739	－
特別損失合計	58,431	1,930
税金等調整前四半期純利益	262,540	520,280
法人税、住民税及び事業税	111,239	176,887
法人税等合計	111,239	176,887
少数株主損益調整前四半期純利益	151,300	343,393
四半期純利益	151,300	343,393

(四半期連結包括利益計算書)
(第２四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成22年10月１日 至　平成23年３月31日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成23年10月１日 至　平成24年３月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	151,300	343,393
四半期包括利益	151,300	343,393
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	151,300	343,393

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成23年３月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	262,540	520,280
減価償却費	25,915	19,361
減損損失	47,692	－
負ののれん償却額	△2,574	△2,574
貸倒引当金の増減額（△は減少）	10,739	－
賞与引当金の増減額（△は減少）	△12,273	4,960
受取利息及び受取配当金	△178	△94
支払利息	1,076	1,186
固定資産除却損	－	25
固定資産売却損益（△は益）	△7,798	－
売上債権の増減額（△は増加）	8,768	△42,122
たな卸資産の増減額（△は増加）	△7,823	△34,850
仕入債務の増減額（△は減少）	△642	15,268
その他	144,685	83,632
小計	470,129	565,074
利息及び配当金の受取額	178	94
利息の支払額	△1,097	△1,256
法人税等の還付額	4,273	54
法人税等の支払額	△3,352	△6,180
営業活動によるキャッシュ・フロー	470,130	557,785
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6,000	－
定期預金の払戻による収入	1,200	－
有形固定資産の取得による支出	△63,780	△1,447
貸付けによる支出	△22,740	△500
貸付金の回収による収入	1,062	140
長期前払費用の取得による支出	△6,762	△3,755
その他	△5,496	275
投資活動によるキャッシュ・フロー	△102,517	△5,287
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	－	30,000
長期借入れによる収入	10,000	－
長期借入金の返済による支出	△8,687	△55,114
社債の償還による支出	△8,000	△23,000
株式の発行による収入	180	420
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,507	△47,694
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	361,106	504,803
現金及び現金同等物の期首残高	407,833	478,952
現金及び現金同等物の四半期末残高	768,939	983,756

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

【セグメント情報】

前第２四半期連結累計期間（自平成22年10月１日　至平成23年３月31日）

当社グループにおいては、飲食事業及び水産物の販売を行っております。水産物の販売は重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

当第２四半期連結累計期間（自平成23年10月１日　至平成24年３月31日）

当社グループにおいては、飲食事業及び水産物の販売を行っております。水産物の販売は重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

該当事項はありません。